

はじめに

本市では、高石市総合計画のまちづくりの目標を実現するために、主に都市空間を具体化する手段として都市計画に関する基本的な方針を示すため、都市計画マスタープランを定めています。

これまでの第4次高石市総合計画では、都市目標を「人間都市・高石」、まちづくりの基本理念を「市民主体のやさしさと活力あふれる健幸のまち」とし、都市計画マスタープランでは「安全で快適な都市づくり」「都市活力を育む都市づくり」「うるおい豊かな都市づくり」の3つの方向のもとで南海中央線や南海本線連立事業などの都市基盤整備や羽衣駅前再開発事業による駅周辺の活性化、芦田川ふるさと広場の水辺空間の整備等の成果を挙げてまいりました。

昨今、より一層進む少子高齢化・人口減少社会、そしてコロナ禍によるリモートワーク、オンラインの活用等デジタル社会への転換、カーボンニュートラルに向けた脱炭素社会の推進など新たな社会情勢が加速度的に変化してきております。

今回の都市計画マスタープランの策定に伴い行った市民アンケート調査では、約8割の方が住み続けたいという意向を示して頂き、その最大の理由として本市の交通利便性の良さがあげられていました。コンパクトな市域に6つの鉄道駅があるという本市の特長を大切にしながら、第5次総合計画の基本理念である「みんなが輝く育みと健幸の住みよいまち」に向けて、充実した子育て支援、学校教育など文教都市として、魅力ある沿線まちづくり、さらにウォークブル推進都市といった事業や施策を連携し、家族や地域とのつながりを大切に生涯にわたり健幸で個性を活かしながら市民の皆様が自ら輝けるような、住みやすい高石市をめざしてまいります。新しい時代を迎えるにあたり、この愛すべき郷土高石市のさらなる飛躍・発展に向け、今後とも皆様の温かいご理解とご支援ご協力を、心よりお願い申し上げます。

結びになりますが、本市都市計画審議会をはじめ関係機関の皆さまに心から感謝を申し上げます。



令和4年(2022年)3月 高石市長 阪口 伸六